

久しぶりの「呑川レポート」配信が、「カワセミ」がテーマでしたので  
関心も高く、「皆既月食」と合わせて、多くの感想をいただきました。  
その後、「カワセミ」に関しては再質問をいただきましたが、  
「呑川講座」の準備作業に追われていて、なかなかご返事が出来ませんでした。

あまり遅くなっても、気持ちが薄れてしまいますので、  
「カワセミ」関連で私が現在追っていることを少し・・・

（お魚プレゼントとカワセミの飛行状態）

カワセミが「呑川」で捕った魚を、自分で食べずに  
プレゼントする状況は二通りあります。  
まずは、いとしい「彼女」へのプレゼント、もう一つは  
「幼鳥」へのプレゼントです。



カワセミが「呑川」にドボンと飛び込んで、魚を捕まえるのはとても大変な  
作業です。  
呑川に突っ込むように飛び込んで、すぐに水から出る瞬間を撮影するのですが、  
この写真のようにクチバシに魚が啜えられていないことが、ほとんどなのです。  
こういう姿をまのあたりにすると、カワセミの赤ちゃんや幼鳥では  
自分で採餌をするのはとても大変であり、またプレゼントされた彼女の喜びは

とても大きいものだろうと思うのです。



こうして、苦勞して捕まえた魚も、自分で食わずに、魚を「横」にくわえてどこかへ持って行くことがあります。

(カワセミは、飛翔する姿も美しいですね！)

私はてっきり、彼女にプレゼントするか、子どもにやるのかとワクワクしてその姿を追いました。

ところが・・・



香川の護岸にある、河床に降りるステップに止まり、  
自分で食べてしまいました。  
こういう姿を何回も追う内に、気が付いたことがあります。  
「魚を横に啜えて飛ぶ」ときは、必ずといって良いほど、止まった先で  
自分で食べるのです。

ハッキリとしたことは判らないのですが、魚を捕まえる漁場・猟場には  
コサギやカワウ、場合に依っては「猛禽類」もいるので、  
まずは安心な場所に移って、ゆっくり食べるのかも知れません。  
我々が思うほど、「狩猟環境」はのんびりしたもので無い可能性があります。

カワセミが魚を「横」に啜えず、「呑み込むような形」で飛ぶことがあります。  
この2年ほど、それが気になって、カワセミの「飛行」の撮影に  
注力を注いでいました。



毎年実施する小学生の「呑川学習」で、子どもたちと一緒に歩くとき、「久原小学校」でも「おなづか小学校」でも、「あっ、カワセミだ!」と、飛んで行くカワセミに子どもたちは気が付きます。止まっているカワセミよりも、自分たちをすり抜けていく時の方が目に止まるようです。

カワセミの飛行は意外と気が付きやすいのですが、カメラを取り出して向けるときは、もうずっと先に行ってしまう、ファインダーの視野からは、すでに外れてしまうことがほとんどです。

大体は写っていないか、写っていてもピンボケで絵にはなりません。しかも、高速で飛行するので、あわててカワセミの姿を追いながら、カメラを急いで横に振って撮影するものですから、しばしば、呑川にカメラを落としそうになります。

(昨年末、横浜の帷子川では、転んで骨折、カメラも落として傷つきました)

そうして撮っても、そのほとんどがクチバシに魚を咥えている姿では無いのです。

なんとも悔しくて、かといって、年齢（私は75才）のせいにもしたくないので、ただひたすらに撮り続けるしかありません。

（若いときは、これは無理だと思うとあきらめてしまったのですが、今の歳になると、いずれきっと撮れるだろう・・・と、挑戦し続けられるのです。

年を取るのも、悪いことではありませんね。)

そうして撮った中に・・・



ごくたまに、魚を咥えている事があり、しかも魚の尻尾をノド側にして、つまり魚の頭を先にして飛行する姿を、何枚か撮影出来ました。そして、カワセミの行く先を目で追って、止まった場所に自転車で追いかけます。



すると、こんな風に、自分がやっと捕まえた魚をプレゼントする感動的なシーンに出逢えるのです。

魚の頭を先にして飛ぶのは、相手のノドに魚のウロコが刺さらないように、愛情のこもった配慮なのです。

こういう飛び方をする時は、必ず？と言って良いほどプレゼンとするときであることも判りました。

(まだ、3回ほどの確認ですが・・・)

生きものたちの「生態」を追うのは、時間が掛かっても面白いものです。

ぜひ、皆さんも挑戦して見てください。

私は最上流に住み、魚も遡上してきませんし、

「コンクリート3面張り」剥き出しの、もっとも生きものが少ないところですので、皆さんの情報をととても楽しみにしています。

————— (呑川の会・当面の活動) —————

(2018/2/3) 「連続5回・呑川講座」(第1回 呑川の源流と支流) 大森南図書館

(2018/2/10) 「連続5回・呑川講座」(第2回 呑川で出逢える生きもの・樹木) 大森南図書館

(2018/2/12) 呑川講座オプション「呑川中流ウォーク」夫婦橋親水公園～池上

(2018/2/16) 「久原フェスタ」(小学4年生の呑川研究発表) 久原小学校  
2/17 まで2日間。4年3組教室にて午前中6回に分けて発表

- (2018/2/17) 「連続5回・呑川講座」(第3回 呑川の水害と水質) 大森南図書館  
(2018/2/24) 「連続5回・呑川講座」(第4回 歴史の中の呑川) 大森南図書館  
(2018/3/3) 「連続5回・呑川講座」(第5回 呑川の未来) 大森南図書館  
(2018/2/25) 「エコフェスタ・ワンダーランド」おなづか小学校  
(2018/3/8) 「呑川の会・定例会」ふれあいはずめま  
(2018/3/10) 「大人のかんきょう楽校」池上会館  
(2018/3/15) 「呑川ネット・定例会」生活センター  
(2018/3/31) 「春の都市河川ウォーク」

——photo essay by——

高橋 光夫

〒145-0061 東京都大田区石川町1-26-8

(tel) 03-3727-8419 (fax) 03-3727-8505

(mail) [mitsuo.takahashi@nifty.com](mailto:mitsuo.takahashi@nifty.com)

---